

令和 8 年 6 月 18 日(木)

定期巡回随時対応型訪問介護看護 こもれびの家

介護・医療連携推進会議 次第

開催日:令和 8 年 6 月 18 日(木) 14 時 00 分～

場 所:こもれびの家 4階 談話室

出席者:

京都市醍醐南部地域包括支援センター

医療法人新生十全会 定期巡回随時対応型訪問介護看護 こもれびの家

医療法人新生十全会 なごみの里病院 地域連携室

医療法人新生十全会 訪問看護ステーション なごみの里

医療法人新生十全会 居宅介護支援事業所 こもれびの家

伏見区老人クラブ連合会 澤井顧問(欠席)

ご契約者様(ご家族)

【内 容】

○定期巡回の目的

定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供し、利用者が可能な限り在宅で安心・安全に自立した日常生活を送ることができるようそれぞれの方の生活リズムに合わせた支援を目指す。

○運営状況 (令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月)

別紙参照(利用者数・介護度別利用者数・訪問件数)

身体拘束事例 0 件

○事例報告

・92歳、女性、要介護 1

令和 2 年 5 月、自宅での転倒により胸椎を圧迫骨折される。共和病院に入院され、その後、老健(深草京しみず)に入所されリハビリをされていた。

令和 3 年 1 月 29 日、サ高住こもれびの家に入居され、訪問介護サービスを利用されていたが、令和 3 年 3 月 1 日より、臨機応変に対応できる定期巡回サービスを利用開始される。サービス開始当初の介護認定は、要介護 3。

- ・利用内容…掃除、洗濯、デイサービス送迎、水分補給、
配下膳(サ高住自費サービスによる居室配膳)
- ・既往歴…左腎腫瘍、骨粗鬆症、白内障、第 12 胸椎圧迫骨折(R2.5.15)、左恥骨・座骨骨折(R4.9.22)

・支援の経過…

サービス開始当初、胸椎骨折により要介護 3 認定であったが、サ高住の生活にも慣れ、介護認定の更新(令和 3 年 7 月)により要介護 1 となる。ご本人ができる事があ
る為、できる範囲で掃除などを一緒にしていただくようにする。

令和 4 年 9 月 22 日～11 月 19 日まで、外出中の転倒で左恥骨・座骨骨折され共
和病院に入院される。退院後、以前のように杖歩行され、毎朝廊下を往復されていた。

ADL 自立されていたが、令和 6 年 11 月頃より、精神的な事が原因で首が前傾し、
歩行が不安定になった為、デイサービスの送迎を開始する。(首の前傾について、整
形では問題なし)

居室内での転倒も何度かあった為、令和 7 年 2 月に区分変更及び居室内に手すり
を設置される。要介護 2 となる。

転倒の恐怖から室内の歩行範囲がかなり狭くなり、物を取ってほしい等、介助量
が増える。

令和 7 年 9 月、首の前傾が改善の兆しを見せる。12 月には、歩行も安定し、居
室内の手すりも撤去となる。しかし、物を取ってほしい、カーテンを開けてほしい、着替え
を取ってほしいなどの要望が続いたが、職員と一緒にすることから始め、徐々にご自
身で行っていただくようシフトする。

例えば、デイサービス送迎時の歩行介助も体を支えていたが、徐々に離れ見守りに
変更したり、居室内の移動も問題なくできる為、ご自身でできる事はご自身でしてい
ただくよう接するように職員全員で同じ対応するようにした。

現在は、居室内の行動はご自身でされるようになり、洗濯物もご自身で畳んでい
ただけるようになる。令和 8 年 2 月での介護認定の更新では要介護 1 となった。

○定期巡回を利用にあたっての利用者やご家族の声

- ・定期的な巡回に加え、随時対応・随時訪問を 24 時間対応してくれるので、安心で
ある。
- ・入居当初や退院時、状態の変化に柔軟に対応してくれることがよい。
- ・介護度が高くなり介護サービスの利用が増えても定額制なので安心である。
- ・定期巡回サービスを利用している為、デイサービスなどの通所系サービスの利用
回数に制限があることが悩ましい。

○今後の課題

- ・令和 7 年 3 月、サ高住外の地域の方へのサービス提供について、人員不足によりサービスを終了せざるを得なくなった。人員体制を整え、再度地域に展開できることを目指す。その際、居宅介護支援事業所等への広報・周知活動等を実施し、定期巡回サービスの認知度の浸透を図っていく。
- ・職員研修などにより、介護の技術や知識の向上を図る。

こもれびの家

介護・医療連携推進会議意見書

ご意見・ご質問等があれば、お手数ですがご記入頂き返信用封筒にてご返信を
お願い致します。

締め切り：6月24日（水）

ご氏名	記入日	年	月	日
-----	-----	---	---	---

[illegible]